

令和5年度 春期

情報処理技術者試験

情報処理安全確保支援士試験

本試験解答例

応用情報技術者

共通午前Ⅰ

ネットワークスペシャリスト

ⅠＴストラテジスト

システムアーキテクト

ⅠＴサービスマネージャ

情報処理安全確保支援士

TAC

CONTENTS

試験区分別に印刷される場合は下記のページ番号をご参照ください

応用情報技術者	03～06
共通午前Ⅰ	07
ネットワークスペシャリスト	08～12
ITストラテジスト	13～15
システムアーキテクト	16～18
ITサービスマネージャ	19～21
情報処理安全確保支援士	22～26

－ 掲載の解答例に関して －

- 注１ 下記試験は２０２３年４月１６日に情報処理推進機構（ＩＰＡ）より発表された解答を掲載しております。

・ 応用情報技術者	午前
・ 共通午前Ⅰ	
・ ネットワークスペシャリスト	午前Ⅱ
・ ＩＴストラテジスト	午前Ⅱ
・ システムアーキテクト	午前Ⅱ
・ ＩＴサービスマネージャ	午前Ⅱ
・ 情報処理安全確保支援士	午前Ⅱ

- 注２ 下記試験の解答例はＴＡＣが２０２３年４月２０日時点で作成したものです。

・ 応用情報技術者	午後
・ ネットワークスペシャリスト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ ＩＴストラテジスト	午後Ⅰ
・ システムアーキテクト	午後Ⅰ
・ ＩＴサービスマネージャ	午後Ⅰ
・ 情報処理安全確保支援士	午後Ⅰ・午後Ⅱ

解答例は変更する可能性がありますので、最新の解答例はＴＡＣホームページにてご確認ください。

>>> ＴＡＣホームページアドレス：<https://www.tac-school.co.jp/>



- 注３ 下記試験の解答例が２０２３年６月２７日に情報処理推進機構（ＩＰＡ）より発表される予定です。

・ 応用情報技術者	午後
・ ネットワークスペシャリスト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ ＩＴストラテジスト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ システムアーキテクト	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ ＩＴサービスマネージャ	午後Ⅰ・午後Ⅱ
・ 情報処理安全確保支援士	午後Ⅰ・午後Ⅱ

詳細は独立行政法人 情報処理推進機構（ＩＰＡ）ホームページをご確認ください。

>>> ＩＰＡホームページアドレス：<https://www.ipa.go.jp/>

令和 5 年度 春期 応用情報技術者試験 解答例

午前試験

問番号	正解	分野	問番号	正解	分野	問番号	正解	分野	問番号	正解	分野
問 1	ア	T	問 21	イ	T	問 41	ア	T	問 61	ア	S
問 2	ア	T	問 22	ア	T	問 42	イ	T	問 62	ア	S
問 3	ア	T	問 23	エ	T	問 43	エ	T	問 63	ウ	S
問 4	ウ	T	問 24	エ	T	問 44	エ	T	問 64	エ	S
問 5	ウ	T	問 25	ウ	T	問 45	エ	T	問 65	ア	S
問 6	エ	T	問 26	ウ	T	問 46	ウ	T	問 66	エ	S
問 7	ア	T	問 27	エ	T	問 47	ウ	T	問 67	ウ	S
問 8	イ	T	問 28	ア	T	問 48	イ	T	問 68	イ	S
問 9	ウ	T	問 29	エ	T	問 49	イ	T	問 69	イ	S
問 10	イ	T	問 30	ア	T	問 50	エ	T	問 70	ウ	S
問 11	ア	T	問 31	イ	T	問 51	エ	M	問 71	イ	S
問 12	ア	T	問 32	ウ	T	問 52	ア	M	問 72	ウ	S
問 13	イ	T	問 33	ウ	T	問 53	イ	M	問 73	エ	S
問 14	イ	T	問 34	エ	T	問 54	エ	M	問 74	ウ	S
問 15	エ	T	問 35	イ	T	問 55	エ	M	問 75	ウ	S
問 16	エ	T	問 36	ア	T	問 56	イ	M	問 76	ア	S
問 17	ウ	T	問 37	ウ	T	問 57	ウ	M	問 77	エ	S
問 18	ア	T	問 38	ウ	T	問 58	イ	M	問 78	イ	S
問 19	エ	T	問 39	ウ	T	問 59	ア	M	問 79	エ	S
問 20	ア	T	問 40	イ	T	問 60	エ	M	問 80	エ	S

分野の「T」はテクノロジ系,「M」はマネジメント系,「S」はストラテジ系の問題です。

令和5年度春期 応用情報技術者

午後 解答例

問1 (20点)

設問	予想配点	解答例							備考			
設問 1	各2点×2	(1)	ウ									
		(2)	a	5								
設問 2	各2点×2	(1)	5									
		(2)	イ									
設問 3	2点	(1)	イ									
	各1点×3	(2)	b	3			c	6		d	5	(b, c は順不同)
		2点	(3)	ア, ウ								
設問 4	2点	(1)	ア									
	3点	(2)	PCから取り外し, 施錠して保管する。									

問2 (20点)

設問	予想配点		解答例			備考
設問 1	2点	(1)	エ			
	3点	(2)	人手不足で設定のスキルの習得が負担となっている。			
	2点	(3)	a	イ		
設問 2	各2点×5	(1)	b	イ		
		(2)	リピート受注率を高める。			
		(3)	可能となること	①	1回の訪問で修理を完了する。	
				②	故障の発生前に部品を交換する。	
			メリット	要員が計画的に作業できる。		
	3点	(4)	値引き価格を印字したバーコードラベルを貼る適切な時刻を通知する機能			

問3 (20点)

設問	予想配点	解答例				備考								
設問 1	各1点×2	ア	3 × 7		イ	4 × 12								
設問 2	2点(完答)	①	48		②	260		③	48		④	84		
設問 3	各2点×4	ウ	pow(3, i − 1)				エ	(i − 1) * 3						
		オ	pe.val1				カ	pe.val2						
設問 4	各2点×3	キ	mod(mul, 10)											
		ク	elements[cidx + 2]											
		ケ	elements[cidx]											
設問 5	2点	2N												

問 4 (20 点)

設問	予想配点	解答例										備考			
設問 1	各2点×3	(1)	a	ア											
		(2)	b	JSON											
		(3)	閲覧される頻度が高い記事												
設問 2	各2点×4	c	280		d	200		e	138		f	246			
設問 3	各1点×2	(1)	g	ITNewsDetail					h	ITNewsHeadline					
	各2点×2	(2)	ITニュース一覧画面に表示する記事の一覧が最新のものに更新されない。												
		(3)	記事データは、 スクリプトがAPで提供するWebAPIを利用して取得するから												

問 5 (20 点)

設問	予想配点		解答例						備考		
設問 1	2点	(1)	FWf								
	3点	(2)	L3SW, FWb, L2SWb								
設問 2	各2点×2	(1)	a	miap.example.jp							
		(2)	apb.f-sha.example.lan								
設問 3	各2点×3	(1)	b	DNSサーバc		c	ゾーン		d	TTL	
	3点	(2)	時間帯によっては、Mシステムの応答が遅くなる								
	2点	(3)	ログイン中の顧客がいないこと								

問 6 (20 点)

設問	予想配点		解答例				備考			
設問 1	各2点×2		a	————→	b	<u>従業員コード</u>				
設問 2	各2点×7	(1)	c	INNER JOIN		d	LEFT OUTER JOIN			
			e	BETWEEN		f	B.職務区分 = '02'			
			g	GROUP BY 従業員コード, KPIコード						
			h	組織ごと_目標実績集計_一時						
			i	COUNT(*)						
	2点	(2)	当該従業員の当該KPI項目について、日別個人実績のレコードが記録されていない場合							

問 7 (20 点)

設問	予想配点	解答例						備考
設問 1	4点	39 秒						
設問 2	4点	a	246					
設問 3	3点	(1)	b	前回のデータ送信から600秒経過 又は 位置通知要求あり				
	各2点×3		c	メッセージ名	受信要求	メッセージの方向	←	
		(2)	d	メッセージ名	測位可能通知	メッセージの方向	→	
			e	メッセージ名	通信可能通知	メッセージの方向	→	
設問 4	3点	通信モジュール及び測位モジュールとの通信が同時に行われ、データが破棄される。						

問8 (20点)

設問	予想配点	解答例						備考		
設問 1	2点	ロックの解除								
設問 2	各2点×3	a	develop		b	main		c	コミット	
設問 3	3点	feature-Aに対して、(オ)をリポートしてから (ウ) をリポートする。								
設問 4	各3点×2	下線③		ウ		下線④		イ		
設問 5	3点	プルしたdevelopブランチをfeatureブランチにマージする								

問9 (20点)

設問	予想配点	解答例				備考	
設問 1	各2点×3	(1)	営業日の業務停止を避けられる。				
		(2)	エ				
		(3)	OSやミドルウェアの制約が満たせること				
設問 2	2点	(1)	リスクをステアリングコミッティに報告し、経営層と情報共有する。				
	3点	(2)	開発課がエスカレーション対応のリソースを拡充する。				
	2点	(3)	移行判定基準				
設問 3	各2点×2	(1)	a	オ	b	ア	
	3点	(2)	現行販売支援システムを保守する費用の確保				

問10 (20点)

設問	予想配点	解答例			備考
設問 1	各2点×2	(1)	ア		
		(2)	a	信頼	
設問 2	2点	(1)	b	180	
	各3点×2	(2)	停止したサービスを回復させるまでの時間		
		(3)	毎月1回午前2時～午前5時に生じる計画停止時間への対応		
設問 3	各2点×4	(1)	イ, エ		
		(2)	バックアップの遠隔地保管を廃止できること		
		(3)	ア		
		(4)	重要事業機能であるか否か		

問11 (20点)

設問	予想配点	解答例			備考	
設問 1	2点	a	ログイン			
設問 2	3点	カ				
設問 3	3点	d	ア			
設問 4	3点	e	ア			
設問 5	各3点×3	f	実地棚卸リスト	g	原料・仕掛品	
		h	他人の利用者ID			

令和 5 年度 春期

IT ストラテジスト試験

システムアーキテクト試験

ネットワークスペシャリスト試験

IT サービスマネージャ試験

情報処理安全確保支援士試験

解答例

午前Ⅰ試験

問番号	正解
問 1	ア
問 2	ア
問 3	ア
問 4	イ
問 5	イ
問 6	エ
問 7	イ
問 8	ウ
問 9	エ
問 10	ウ

問番号	正解
問 11	イ
問 12	ア
問 13	イ
問 14	エ
問 15	エ
問 16	ウ
問 17	エ
問 18	エ
問 19	イ
問 20	イ

問番号	正解
問 21	イ
問 22	ア
問 23	ア
問 24	エ
問 25	ア
問 26	イ
問 27	イ
問 28	ウ
問 29	ア
問 30	エ

令和 5 年度 春期 ネットワークスペシャリスト試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	ウ
問 2	ウ
問 3	ア
問 4	ア
問 5	ウ
問 6	エ
問 7	イ
問 8	エ
問 9	ウ
問 10	ウ

問番号	正解
問 11	イ
問 12	ウ
問 13	イ
問 14	エ
問 15	ウ
問 16	イ
問 17	ア
問 18	エ
問 19	ウ
問 20	イ

問番号	正解
問 21	ア
問 22	エ
問 23	エ
問 24	イ
問 25	エ

ネットワークスペシャリスト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (18 点:3 点×6)

- a : リバース
- b : 権威 または コンテンツ
- c : キャッシュ
- d : ストリーム
- e : :method
- f : TLS

設問 2 (8 点:(1)4 点, (2)4 点)

- (1) リクエストを受け付けた順序と同じ順序でレスポンスを返す必要がある。
- (2) HTTP/2 の利用の有無を TLS ハンドシェイクで判定するため

設問 3 (8 点:(1)4 点, (2)4 点)

- (1) (d), (e)
- (2) ALPN エクステンションとクライアントが使用できるプロトコルのリスト

設問 4 (16 点:(1)3 点×3, (2)動作モード 3 点, 理由 4 点)

- (1) ア : 172.21.10.0/24
イ : 172.21.11.2
ウ : 172.21.11.1
- (2) (動作モード) アプリケーションモード
(理由) HTTP/2 リクエストの URL に応じて振分け先を判定する必要があるから

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (14 点:2 点×7)

- ア : フラッディング
- イ : IGMP
- ウ : マルチキャスト
- エ : ツリー
- オ : PIM-SM
- カ : SSM
- キ : 復号

設問 2 (9 点:(1)3 点, (2)3 点, (3)3 点)

- (1) ソースとレシーバの組合せごとにトラフィックが発生し通信量が多くなる。

(2) 160 (Mビット/秒)

(3) 全ての IP カメラに個別の IP アドレス及び個別のグループアドレスを使用する。

設問 3 (15 点:(1)3 点, (2)3 点×2, (3)3 点×2)

(1) 同一グループアドレスでもソース毎に受信可否できる。

(2) ① グループアドレス

② インタフェース

(3) I : カメラ管理サーバ

II : 443

設問 4 (12 点:(1)3 点×3, (2)3 点)

(1) a : L3SW11, L3SW21

b : L2SW11, L2SW21

c : IGMPv3

(2) カメラ管理サーバの登録情報を変更するだけでよい。

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (16 点:2 点×8)

a : トライバンド

b : アンテナ

c : パスフレイズ

d : チャネルボンディング

e : PoE++

f : マルチギガビットイーサネット

g : スタック

h : DHCP リレーエージェント

設問 2 (17 点:(1)周波数帯 2 点×2, 利点 3 点, (2)周波数帯 2 点×2, 動作 3 点, 影響 3 点)

(1) (周波数帯) ① W52/W53

② W56

(利点) デュアルバンドよりも多くの端末を同時に接続できる。

(2) (周波数帯) ① W53

② W56

(動作) 検知したチャンネルでのデータ通信を直ちに停止して他の利用可能なチャンネルに変更する。

(影響) 新たなチャンネルでの再接続まで通信が停止する。

設問 3 (17 点:(1)3 点, (2)区間 2 点, 理由 3 点, (3)機器 2 点×3, 作業ミス 3 点)

(1) 800 (Mbps)

(2) (区間) (ii)

(理由) 束ねたリンクの各帯域の合計分の帯域を利用できるから

(3) (機器) ① フロア L2SW

② AP

③ 動画コンテンツサーバ

(作業ミス) フロア L2SW 交換時にケーブルをループ接続する。

この解答例の著作権は TAC (株) のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyrights by TAC Co., Ltd.2023

【午 後 II】

問 1 (配点 100 点)

設問 1 (24 点:(1)4 点, (2)4 点, (3)4 点, (4)4 点, (5)4 点×2)

- (1) DNS ラウンドロビン
- (2) プロキシサーバのアプリケーションプロセスの停止を検知できないから
- (3) 192.168.2.145
- (4) DNS ゾーンファイルの変更前の情報がキャッシュされている時間を短くするため
- (5) (方法) PAC ファイルを利用する。

(制限事項) PC やサーバが PAC ファイルを取得できること

設問 2 (60 点:(1)3 点×6, (2)4 点, (3)タイプ 2 点, 動作 4 点, (4)4 点, (5)確認すべき内容 4 点, (送信元 2 点, 宛先 2 点)×2, (6)4 点, (7)2 点×6)

- (1) a : AS
b : ピア
c : UPDATE
d : KEEPALIVE
e : ルーティングテーブル
f : 大きい
- (2) 仮想ルータの仮想 IP アドレス
- (3) (タイプ) 4
(動作) ピアがダウンしたと判断して経路情報の更新を行う。
- (4) R13 のルーティングテーブルが未設定の状態では VRRP マスターになると、ルーティングができないから
- (5) (確認すべき内容) 増設した経路での D 社閉域 NW への導通
 - ① (送信元) R13 (宛先) R14
 - ② (送信元) FW10 (宛先) R13
- (6) 静的経路制御の経路情報が BGP の経路情報よりも優先して利用されるから
- (7) ① L2SW10 と R11 の間のリンク
② L2SW10 と R13 の間のリンク
③ R11
④ R13
⑤ R11 と R12 の間の専用線
⑥ R13 と R14 の間の専用線

設問 3 (16 点:(1)4 点, (2)4 点, (3)4 点, (4)4 点)

- (1) FW40 経由でインターネットに接続できない。
- (2) 一部の SaaS でアクセス制限されるから
- (3) 送信元 IP アドレスがプロキシサーバ A で宛先がインターネットの宛先ポート番号 80 番と 443 番の通信のネクストホップを R10 に設定する。
- (4) SaaS がアクセスを許可する送信元 IP アドレスを FW40 のものに設定変更する。

問 2 (配点 100 点)

設問 1 (18 点:3 点×6)

- a : NS
- b : MX
- c : 100.α.β.1
- d : 100.α.β.3
- e : 192.168.1.1
- f : 192.168.1.3

設問 2 (8 点:(1)4 点, (2)4 点)

- (1) アクセス先の FQDN とコモン名が一致しないから
- (2) L3SW, FWz, L2SW

設問 3 (19 点:(1)3 点×2, (2)4 点, (3)3 点×3)

- (1) g : アップ
- h : アウト
- (2) 1 台に障害が発生しても残りの 2 台で十分な処理能力を確保するため
- (3) i : 100.α.β.2
- j : 192.168.1.2
- k : 192.168.1.4

設問 4 (23 点:(1)3 点×2, (2)3 点, (3)3 点×2, (4)4 点, (5)4 点)

- (1) (どの機器) LB
- (IP アドレスの呼称) 仮想 IP アドレス
- (2) IP アドレス
- (3) FWz (から) LB (に変更)
- (4) アクセスしたクライアントの IP アドレスを特定してログに記録するため
- (5) 既設 EC サーバ内のサーバ証明書と秘密鍵を取り出して, LB にインストールし直す。

設問 5 (12 点:(1)4 点, (2)4 点, (3)4 点)

- (1) TCP コネクションの再接続時にアクセス元のポート番号が変化し, アクセス元が異なると判断されるから
- (2) 振分け先のサーバから Web ブラウザへの応答に, セッション ID が書き込まれた Cookie が設定されている場合
- (3) Web サーバプロセスの停止を検出できないから

設問 6 (20 点:(1)4 点, (2)4 点, (3)4 点, (4)4 点×2)

- (1) 購買担当者の会員企業に登録されている IdP の URL
- (2) IdP のデジタル証明書
- (3) ST は IdP の鍵で暗号化されているから
- (4) ① 正しい IdP からの SAML アサーションであること
- ② SAML アサーションの内容が改ざんされていないこと

以上

令和 5 年度 春期 IT ストラテジスト試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	ア
問 2	エ
問 3	エ
問 4	ウ
問 5	エ
問 6	ウ
問 7	ウ
問 8	ウ
問 9	ウ
問 10	エ

問番号	正解
問 11	ア
問 12	ウ
問 13	ア
問 14	イ
問 15	イ
問 16	イ
問 17	イ
問 18	イ
問 19	ア
問 20	ウ

問番号	正解
問 21	ウ
問 22	イ
問 23	イ
問 24	ア
問 25	イ

ITストラテジスト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (9 点)

会員の A 社への貢献活動を通じて互恵関係を強化し、A 社経済圏を拡大すること

設問 2 (9 点)

新サービスを獲得した際のポイント付与システムの拡張が容易でない課題

設問 3 (8 点)

加害者への注意喚起数やアカウント停止情報などを信頼度スコアに反映する。

設問 4 (24 点:(1)8 点, (2)8 点, (3)8 点)

- (1) 貢献活動に対して、さらに充実した特典を獲得したいというニーズ
- (2) 二次流通でのその収益の一部を著作者に自動的に還元する仕組み
- (3) 提携企業へのマーケティングに関するデータ提供サービス事業

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (12 点:6 点×2)

(強み) ブランド認定品の農水産物や温泉や渓谷などの自然観光資源

(弱み) 様々な分野が環境変化に対応できず、各分野が協調できていない。

設問 2 (17 点:(1)5 点×2, (2)7 点)

- (1) ① 各分野が協調して地産地消や情報発信を可能とする。
② 変更や拡張が容易で分野間のデータ連携を可能とする。
- (2) 利用者ごとのニーズにより合致したサービスを提供し、利用を促す。

設問 3 (21 点:(1)6 点, (2)5 点, (3)5 点, (4)5 点)

- (1) 農水産業の熟練のノウハウなど移住経験者との意見交換
- (2) 生産者と実需者のマッチング件数
- (3) レコメンドアプリからの予約数
- (4) 転入による人口増加率

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (5 点)

顧客体験価値の向上

設問 2 (12 点: 6 点×2)

- (商品開発) デザイン支援システムがあり、デザインの作成効率がよいこと
- (生産) 自社工場をもち、短納期での多品種少量生産が可能であること

設問 3 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

- (1) 投票や感想の提供を行った会員にはポイントを付与すること
- (2) 流行をいち早く取り入れながらも他人とは異なるファッションを提供するため

設問 4 (19 点:(1)5 点, (2)7 点, (2)7 点)

- (1) 投資効果を検証し段階的に投資するから
- (2) EC サイトによる通販で購入した商品が着用時にイメージ通りであること
- (3) 買い物カゴ内の商品の在庫が少なくなった時にその旨を通知する。

問 4 (配点 50 点)

設問 1 (15 点:(1)7 点, (2)8 点)

- (1) 空間 6 自由度の動きを高精度に自在に作り出せる。
- (2) ヘリに比べて航続時間が短く飛行速度も遅いため、カバーできる範囲が小さくなるから

設問 2 (21 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) 機種ごとの性能・特性を再現すること
- (2) 操縦装置へのフィードバックの制御技術の開発は F 社では難しいから
- (3) 視覚情報だけを基に操縦することを想定しているから

設問 3 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

- (1) 専用の離着陸場ではない不特定の場所でも離着陸を行うから
- (2) 操縦技能の高い操縦士の不足で操縦士の配備にコストが掛かること

以上

令和 5 年度 春期 システムアーキテクト試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	イ
問 2	イ
問 3	ウ
問 4	ア
問 5	ア
問 6	イ
問 7	イ
問 8	ア
問 9	ア
問 10	エ

問番号	正解
問 11	ア
問 12	ア
問 13	ウ
問 14	ウ
問 15	エ
問 16	ウ
問 17	ア
問 18	エ
問 19	エ
問 20	イ

問番号	正解
問 21	ウ
問 22	ウ
問 23	エ
問 24	エ
問 25	イ

システムアーキテクト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

本稼働日の前週金曜日までに発注するよう依頼する。

設問 2 (7 点)

a : 現行バージョンのデータ構造から新バージョンのデータ構造に変更

設問 3 (35 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)7 点, (4)7 点×2)

- (1) 関連会社の経理担当者の事務処理の負担が大きいこと
- (2) 現行基幹システムでコード変換を行ってから移行する方法が推奨されないから
- (3) 過去の経営状況を新たな切り口でも分析できるようにすること
- (4) (実績データの範囲) 前々月以前のデータ
(理由) 前々月以前の実績データは更新されないから

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (11 点:(1)完答で 5 点, (2)3 点×2)

- (1) セミナーID, 担当役割, 担当者 ID
- (2) a : 受講申込
b : メールアドレス

設問 2 (5 点)

申込確認画面の表示後, 確定ボタンを押すまでに, 他者の申込確定で定員に達した場合

設問 3 (34 点:(1)5 点×2, (2)4 点×2, (3)4 点×4)

- (1) (チェック) 受講 ID が一致し, 接続フラグの値が“0”のレコードが存在するかどうか
(更新処理) 受講受付日時を現在日時に, 接続フラグを“1”に更新する。
- (2) (属性) アンケート URL
(ファイル) 受講申込
- (3) c : セミナーファイルの定員
d : 受講ファイルのレコード件数
e : 受講申込ファイルのレコード件数
f : アンケートファイルの評価点の合計

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (10 点:5 点×2)

(要望) (e)

(理由) L 社の情報セキュリティ規則で、外部信用機関との接続は外信端末に限定しているから

設問 2 (16 点:4 点×4)

a : 送信元 FAX 番号

b : 金融機関

c : 受信 FAX 番号

d : 申込種別 (※a と b, c と d の組で順不同)

設問 3 (完答で 6 点)

保証料管理, 書類管理

設問 4 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

(1) 外部信用機関に保証完了の報告をすること

(2) 契約状態が“実行中”又は“代弁”の保証案件の融資残高を合計する。

設問 5 (完答で 6 点)

必要な申込書類, 保証料の算出に用いる利率

問 4 (配点 50 点)

設問 1 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

(1) a : 事業者のシステムに送信

(2) b : チェックインを完了した利用者

設問 2 (18 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)6 点)

(1) スマホで撮影した利用者の顔と, 公的証明書の顔写真を照合する。

(2) 顔情報と識別情報を関連付けて, クラウドサービスのデータベースに登録する。

(3) 事業者に対応する識別情報を特定すること

設問 3 (20 点:(1)4 点×2, (2)6 点, (3)6 点)

(1) ① 顔情報

② 識別情報

(2) 短時間に多数の宿泊客がホテルにチェックインする可能性が高いとき

(3) 顔認証端末に保持している情報が漏えいするリスクがあるから

以上

令和 5 年度 春期 IT サービスマネージャ試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	イ
問 2	イ
問 3	ウ
問 4	エ
問 5	ア
問 6	ウ
問 7	ウ
問 8	イ
問 9	ウ
問 10	エ

問番号	正解
問 11	ア
問 12	イ
問 13	イ
問 14	エ
問 15	イ
問 16	ア
問 17	ウ
問 18	ア
問 19	ウ
問 20	ア

問番号	正解
問 21	エ
問 22	エ
問 23	イ
問 24	エ
問 25	ア

IT サービスマネージャ 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (23 点:(1)7 点, (2)8 点, (3)8 点)

- (1) しきい値超えの時点ですでに業務への影響が及ぶから
- (2) 同じ曜日・時間帯の CPU 使用率の推移
- (3) 71

設問 2 (18 点:(1)9 点, (2)9 点)

- (1) 年末年始の休業日は CPU 使用率が低く, 計算対象に含めるとしきい値が低く設定されてしまうから
- (2) イベント情報が自動的に R ソフトに記録され, イベント記録簿の代わりになるから

設問 3 (9 点)

通常は CPU 使用率の低い時間帯における値の上昇も早期に検知することができるから

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (27 点:(1)7 点, (2)設置場所 5 点, 理由 8 点, (3)7 点)

- (1) 時間軸で各機器の発生事象の流れを正確に把握
- (2) (設置する場所) LAN1 ・ LAN2
(理由) インターネットからアクセスできず, サイバー攻撃によるログ消失のリスクが低いから
- (3) クラウド事業者のストレージサービスにバックアップを取得

設問 2 (15 点:(1)7 点, (2)8 点)

- (1) L サーバに検知対象外とする実行ファイルとして登録する。
- (2) 業務ツールの実行ファイルを L ソフトで検査し, 不正プログラムと検知された場合は L 社に解析を依頼する。

設問 3 (8 点)

L 社の回答が翌営業日になると, 当日中にインシデントの解決方法を決定できないから

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (13 点:(1)7 点, (2)6 点)

- (1) タイムリーに工事の進捗の把握
- (2) 残業時間の減少

設問 2 (9 点)

サポート終了の 1 週間前以降に発生し, 契約の終了時まで未解決のインシデント

設問 3 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

- (1) E 社作業員に分かりやすい用語を使って修正
- (2) 第 1 段階展開でよく発生した E 社現場に特化した問合せ

設問 4 (14 点:(1)6 点, (2)8 点)

- (1) G システムのログ情報
- (2) 新サービスのメリットをトップダウンで伝え意識改革を図るため

以上

この解答例の著作権は TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyrights by TAC Co.,Ltd.2023

令和 5 年度 春期 情報処理安全確保支援士試験 解答例

午前Ⅱ試験

問番号	正解
問 1	ウ
問 2	イ
問 3	ア
問 4	エ
問 5	ウ
問 6	イ
問 7	ア
問 8	エ
問 9	イ
問 10	ア

問番号	正解
問 11	ア
問 12	エ
問 13	ア
問 14	エ
問 15	ア
問 16	イ
問 17	エ
問 18	イ
問 19	イ
問 20	ア

問番号	正解
問 21	ア
問 22	エ
問 23	ウ
問 24	イ
問 25	エ

情報処理安全確保支援士 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (20 点:(1)4 点, (2)4 点, (3)6 点×2)

- (1) a : 13
- (2) b : in
- (3) c : WHERE head.order_no = ?
d : PreparedStatement stmt = conn.prepareStatement(sql)

設問 2 (30 点:(1)4 点, (2)4 点, (3)5 点, (4)4 点×3, (5)5 点)

- (1) e : orderNo
- (2) f : static
- (3) レースコンディション
- (4) g : String orderNo
h : new
i : getOrderInfoBean(orderNo)
- (5) j : 得意先コード

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (5 点)

a : パッシブ

設問 2 (28 点:(1)5 点, (2)4 点, (下線①)6 点, (3)4 点, (下線②)6 点, (4)3 点)

- (1) b : コミュニティ
- (2) c : バインド
(下線①) : 2-3 でバインドモードで起動し, 1-3 で接続が拒否され, 3-3 の状態であるから
- (3) d : コネクト
(下線②) : 2-4 でコネクトモードで起動し, 1-4 で接続が許可され, 3-4 の状態であるから
- (4) e : 1365

設問 3 (17 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)5 点)

- (1) TXT レコードでは任意のテキストデータを登録できるから
- (2) 後日ダウンロードしたファイルは当時と異なる可能性があるから
- (3) f : 受付サーバ

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (11 点:(1)2 点×3, (2)5 点)

- (1) a : ア
- b : イ
- c : ウ

(2) L サービスの送信元制限機能で送信元 IP アドレスが社外の場合は拒否されるから

設問 2 (8 点:(1)2 点×3, (2)2 点)

- (1) d : ア
- e : ウ
- f : イ
- (2) g : イ

設問 3 (31 点:(1)4 点, (2)5 点, (3)2 点, (4)2 点×2, (5)2 点×8)

- (1) 本社プロキシサーバ経由から P コネクタ・P サービス経由になる。
- (2) 許可する送信元 IP アドレスに各営業所の UTM グローバル IP アドレスを設定する。
- (3) (イ)
- (4) h : 6
- i : 2
- (5) あ : 4
- j : <https://△△△-a.jp/>
- k : 研究開発部の従業員
- l : 許可
- い : 3
- m : 外部ストレージサービス
- n : 全従業員
- o : 禁止

【午 後 II】

問 1 (配点 100 点)

設問 1 (8 点)

資産管理システムに登録されたサイトマップを用いて調べる。

(別解) サイトマップを自動生成するツールやサービスを用いて調べる。

設問 2 (24 点:(1)3 点×2, (2)3 点, (3)8 点, (4)7 点)

(1) a : イ

b : ウ

(2) c : (2-3)

(3) アンケート入力 1 画面の URL の拡張機能設定で, アンケート確認画面の URL を判定対象に含める登録を行う。

(4) トピック検索の結果が 1 件以上存在するような文字列であること。

設問 3 (24 点:(1)6 点, (2)((画面遷移)3 点, (理由)6 点)×2)

(1) ウ, エ

(2) ① (画面遷移) (A)

(理由) 同一会員がパスワード入力を連続 5 回間違えるとロックされログインできないから

② (画面遷移) (C)

(理由) 一つのキャンペーンに対して同一会員は一回しか申し込めないから

設問 4 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

(1) d : JavaScript からの cookie の読み込み

(2) 偽の入力フォーム等に入力させた情報を攻撃者のサイトへ送信する。

設問 5 (16 点:(1)6 点, (2)5 点×2)

(1) group_code パラメータを削除したリクエスト

(2) e : JSESSIONID

f : group_code

設問 6 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

(1) 資産管理システムへの Web サイト登録時に診断に必要な情報も登録し, 一元管理する。

(2) 開発者による個別の問合せをやめ, 問合せ窓口を一本化して, 問合せ内容と回答を A 社グループ内で共有する。

問 2 (配点 100 点)

設問 1 (9 点:1 点×9)

a : ○

b : ×

c : ×

d : ○

e : ○

f : ×

g : ○

h : ○

i : ○

この解答例の著作権は TAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyright by TAC Co.,Ltd.2023

設問 2 (19 点:(1)3 点×3, (2)10 点)

(1) j : ウ

k : エ

l : イ

(2)

```
{  
  "system": "4000",  
  "account": "11[1-9][0-9]",  
  "service": "オブジェクトストレージサービス",  
  "event": "オブジェクトの削除"  
}
```

設問 3 (29 点:(1)5 点×3, (2)4 点×2, (3)6 点)

(1) m : 新日記サービス n: サービス T o: サービス T

(2) p : (3)

q : (7)

(3) ウ, エ

設問 4 (18 点:(1)8 点, (2)10 点)

(1) 攻撃者は認可要求中の code パラメータに格納すべき認可コードを入手していないから

(2) 検証コードの SHA-256 ハッシュ値を base64url エンコードした値を, チャレンジコードの値と一致するか確認する。

設問 5 (25 点:(1)8 点, (2)9 点, (3)8 点)

(1) OSS リポジトリにアクセスし, ファイル Z を含む変更履歴をダウンロードする。

(2) 開発者にはアップロード権限のみ, 開発リーダーには承認権限のみといった職務に応じた権限分離を行う。

(3) Xトークンには, リポジトリ W のソースコードのダウンロード権限のみ付与する。

以上

2023年秋期合格目標 高度試験・情報処理安全確保支援士試験コース別カリキュラム一覧

初 応用情報技術者試験合格レベルの方で初めて高度試験を受験される方 **経** 受験経験者・学習経験者対象

SC 情報処理安全確保支援士							コース詳細
講義ベース:週 1~2 回							10月~
初 本科生・本科生プラス 全23回	午前I対策 4回	専門知識対策講義 10回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回	本試験	
初 本科生 (午前I試験免除) 全19回	—	専門知識対策講義 10回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回		
経 上級コース 全9回	—	—	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回		
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 2回		

DB データベーススペシャリスト							コース詳細
講義ベース:週 1~2 回							10月~
初 本科生・本科生プラス 全19回	午前I対策 4回	専門知識対策講義 6回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回	本試験	
初 本科生 (午前I試験免除) 全15回	—	専門知識対策講義 6回	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回		
経 上級コース 全9回	—	—	専門知識対策演習 6回	公開模試 1回	公開模試解説 2回		
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)			公開模試 1回	公開模試解説 2回		

PM プロジェクトマネージャ							コース詳細
講義ベース:週 1~2 回							10月~
初 本科生・本科生プラス 全12回	午前I対策 4回	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回	公開模試解説 1回	本試験
初 本科生 (午前I試験免除) 全8回	—	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回	公開模試解説 1回	
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)				公開模試 1回	公開模試解説 1回	

AU システム監査技術者							コース詳細
講義ベース:週 1~2 回							10月~
初 本科生・本科生プラス 全12回	午前I対策 4回	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回	公開模試解説 1回	本試験
初 本科生 (午前I試験免除) 全8回	—	午前II対策 2回	午後II対策 2回	午後I対策 2回	公開模試 1回	公開模試解説 1回	
経 チャレンジバック	コース専用教材と添削問題、公開模試でアウトプットトレーニングを強化するアウトプット中心の対策コースです。(講義映像の配信・送付はありません)				公開模試 1回	公開模試解説 1回	

ES エンベデッドシステムスペシャリスト							コース詳細
講義ベース:週 1~2 回							10月~
初 本科生・本科生プラス 全12回	午前I対策 4回	午前II対策 4回	午後I・II対策 2回	公開模試 1回	公開模試解説 1回	本試験	
初 本科生 (午前I試験免除) 全8回	—	午前II対策 4回	午後I・II対策 2回	公開模試 1回	公開模試解説 1回		

学習のアドバイス

計画的な学習が大事!

午前試験

細切れの時間でもOK!
すきま時間も活用しよう

午前I試験では共通的な知識、午前II試験では受験分野の専門知識が問われます。通勤・通学のすきま時間等も活用しながら、過去問演習では間違い選択肢についても説明ができるような学習を心がけましょう。

午後試験

最低でも1時間以上のまとまった学習時間を確保して机に向かおう

午後試験では、解答時間や本試験の時間を意識した学習が必要となるため、すきま時間や数十分単位での学習はおすすめできません。学習時間をきちんと確保できるように計画し、腰を据えた学習をしましょう。

午後II試験・午後試験の出題形式①

記述式(スペシャリスト系)

長文の事例を読み、30字〜50字で解答する形式

記述式となる試験区分(秋期)

データベーススペシャリスト
情報処理安全確保支援士

午後II試験・午後試験の出題形式②

論述式(論文系)

問題文で与えられたテーマに基づき、およそ2,000字程度で論述する形式

論述式となる試験区分(秋期)

プロジェクトマネージャ
システム監査技術者
エンベデッドシステムスペシャリスト

Q&A 高度試験について よくある質問

Q. 応用情報技術者試験に合格したのですが、どの高度試験を受験しようか迷っています。

A. 応用情報技術者試験学習時の得意分野や本試験で高得点だった分野を選択することをおすすめします。学習で培った知識をそのまま活かすことができ、大きなアドバンテージになります。他にもご自身の業務との関連性のある分野やこれからスキルを向上させたい分野などを選択するとよいでしょう。

応用情報技術者(午後試験)		対応する高度試験	
問1	情報セキュリティ	SC	情報処理安全確保支援士
問2	経営戦略	ST	ITストラテジスト
問3	プログラミング		該当なし
問4	システムアーキテクチャ	SA	システムアーキテクト
問5	ネットワーク	NW	ネットワークスペシャリスト
問6	データベース	DB	データベーススペシャリスト

応用情報技術者(午後試験)		対応する高度試験	
問7	組込みシステム開発	ES	エンベデッドシステムスペシャリスト
問8	情報システム開発	SA	システムアーキテクト
問9	プロジェクトマネジメント	PM	プロジェクトマネージャ
問10	サービスマネジメント	SM	ITサービスマネージャ
問11	システム監査	AU	システム監査技術者

Q. 情報処理技術者試験に関する学習は初めてですが、いきなり高度試験の対策からはじめてもよいのでしょうか？

A. レベルに合った試験からはじめて、ステップアップしていくことをおすすめします。その理由は午前I試験にあります。高度試験・情報処理安全確保支援士試験の午前I試験は高度共通試験として実施され、試験区分を問わず、共通の問題が出題されます。出題内容は応用情報技術者試験の午前試験問題の抜粋です。受験区分の専門分野以外にも出題されるため、午前I試験突破のためには必然的に応用情報技術者試験の午前試験合格レベルの知識が必要になります。

高度試験の出題内容(一例)

